

令和6年度 学校経営計画書

総社市立新本小学校 校長 志田 圭子

1 「総社市教育大綱」

- ・ 総社を愛す子供
- ・ 心優しい子供
- ・ 礼儀正しい子供

2 本校のミッション（使命、存在意義）

- ・ 英語特区，小規模校としての特性を生かし，特色ある教育，個に応じた教育を行い，英語によるコミュニケーション力や確かな学力の向上に努める。
- ・ 音楽特区，特色ある地域の特性を生かし，音楽による情操教育や豊かな地域文化の学習，体験を通して豊かな心やふるさと愛を育む。
- ・ 地域人材との積極的な交流を生かし，学習の充実に努めるとともに，教育活動を保護者，地域に積極的に発信し，地域とともにある学校づくりを推進する。

3 内外の環境分析

- ・ 学区は広く，田畑や山林が多い。また，新本川やその支流も流れていて自然が豊かである。
- ・ 毎年地域の方々が大盛に行っている伝統的な行事（義民祭・神饌赤米作り）があり，児童や保護者，教職員も深くかかわり，学習とのつながりも深い。
- ・ 保護者や地域の方々は学校教育に協力的で，PTA活動にも協力的である。
- ・ 児童数は特区の影響もあり，ここ数年の児童数は安定している。（全校児童68名）
- ・ 一人一人の児童に目が行き届きやすく，個別指導に時間を多くかけることができ，主体的に学習したり活動したりする児童が増えてきている。
- ・ 現在不登校傾向のある児童，特別な支援や配慮を必要とする児童がおり，各機関と連携した細やかでいいねいな指導や支援が必要である。

4 ミッションの追求を通じて実現しようとする本校のビジョン（将来像・目指す姿）

- * 目指す学校像
「明日も学校へ来たいな」と子どもが思う学校
「新本小へ通わせて安心」と保護者や地域が思う学校
「一緒に仕事できて良かった」と同僚が思う学校
- * 目指す子ども像
新・・・自分で考える子
本・・・本気で取り組む子
義・・・きまりを守る子
民・・・みんなで仲良く元気な子
- * 目指す教師像
○子どもとともに学び続ける教職員
○誠実で信頼される教職員
○互いを認め合い温かい絆で結ばれた教職員

5 当該年度の具体的な学校経営目標・計画

- 1 児童一人一人が主体的に学びに向かい，学力が向上する指導法の工夫を図る。
 - ・ 基礎的・基本的学力（読み・書き・計算）を定着させるための指導や支援の工夫
 - ・ 学習意欲や思考力，表現力を高める学習指導法の改善や工夫・協同学習の推進
 - ・ ICT機器や教材・教具の効果的な活用と開発
 - ・ 児童が読書に親しみ，好きになることができる環境づくり
 - ・ 中学校ブロック各校との連携による学力向上に向けた望ましい学習基盤の確立（まさきプラン）
 - ・ 外国語活動・外国語の指導方法の研究
- 2 自他のよさを認め合い，学校行事などに主体的に取り組む児童を育成する。
 - ・ 生徒指導などあらゆる場面で「ほめて育てる」ことを基本にする。
 - ・ 全教職員の共通理解に基づく，不登校対策やいじめ防止など積極的な生徒指導の推進
 - ・ 学校・学級内での思いやりのある温かい人間関係づくり（日記指導，品格教育，ピアサポート，SELなど）
 - ・ 学校行事などで児童が自分の思いをもち，主体的に取り組むことができる工夫
 - ・ 特別支援教育，道徳教育の充実

- 3 健康・安全教育の推進と児童の体力増進を図る。
 - ・ 授業や体育の行事等における運動量の確保と一年間を見通した体力づくり活動（特に持久力、遠投力と柔軟性の向上）の推進
 - ・ 食育、保健指導や保健学習の充実とメディアコントロールなど望ましい基本的生活習慣の育成
 - ・ 安全な環境づくりと安全意識、危機意識の向上
- 4 ふるさとを知り、ふるさを大切にしようとする児童を育成する。
 - ・ 地域の人々とのふれ合いや地域の自然環境や歴史の学習
 - ・ 地域の人材の活用と地域学習・体験活動の充実
- 5 気持ちの良いあいさつができる子どもを育成する。
 - ・ 総中学区共通の「キャリアパスポート」をもとにあいさつの実践を行う。
 - ・ あいさつ運動による「気持ちのよいあいさつ」の奨励
- 6 保護者・地域との連携を推進する。
 - ・ 学校だよりや学校ホームページの充実
 - ・ 地域行事への協力や参加
 - ・ 学校支援ボランティア活動の推進
- 7 働き方改革の推奨
 - ・ 教職員が業務改善（効率的な業務）や時間管理（退庁時刻設定・定時退庁日設定）の意識をもった取組の推進

6 総社教育大綱を具現化するためのアクション

「総社を愛す子供」

①総合的な学習の時間や音楽の時間を通して今年度は義民祭に向けて、全校で義民オペレッタに取り組む。また、5年生を中心に地域の赤米作りに取り組んだり6年生の赤米交流事業を通して新本地区に誇りと愛着をもつ子どもを育成する。

②社会科や生活科、総合的な学習の時間において、総社市や新本地区の産業や福祉、教育などを取り上げ住んでいる地域の良さを知る。

「心優しい子供」

①音楽の時間や特別活動の時間においてくらしき作陽大学と連携して吹奏楽などの音楽鑑賞行い、情操教育を推進する。

②特別の教科である道徳の時間を中心に自己を見つめる時間を大切にし、自他共にお互いを思いやりよりよい生き方に気づく子どもを育成する。

③社会福祉協議会の方々と一緒に、6年生の子どもが「ふれあい弁当配り」をし、独居老人宅を訪問し高齢者に対する思いやりの気持ちをもつ子どもを育てる。

「礼儀正しい子供」

①中学校ブロックで取り組んでいる15歳のめざす姿「まさき」を中心に地域や家庭と保幼小中と連携しながら進める。

②全教職員が同じベクトルで「あいさつ・返事」「くつそろえ」「無言清掃」などきまりを守った暮らしを指導し、できたことをしっかりほめ、きまりを守ると「きもちがよい」ことを実感できるようにする。

③「あいさつ運動」については、総社中学校の生徒を「あいさつ大使」に招き、児童会の子どもたちと一緒に「あいさつ運動」に取り組んでいる。